

メールマガジン「水土里」とは？

静岡県内の基盤整備や施設点検の状況、農業農村整備に関する研修会等に関する情報をお知らせしています。



Webページはこちら↑

中山間地の水田に、参入希望企業を案内

富士



静岡市の農業法人から、富士宮市の中山間地にある企業参入候補地について、現地を確認したいとの要望があり、令和3年1月26日（火）に、地域の役員、富士宮市・JA富士宮・公社富士駐在員と共に案内しました。

この候補地は羽鮒地区の基盤整備済みの水田ですが、地域の農家が高齢化して耕作できなくなった圃場ため、地域外の担い手に耕作をして欲しいと考えています。

当該農業法人は、静岡市、焼津市、藤枝市において露地野菜を栽培しており、さらに耕作地を拡大したいと考えています。圃場によって、排水や土質、機械の出入りなどの条件がそれぞれ異なるので、改めて検討して借りる圃場を決めていきたいとのことでした。

地域の役員からは、草刈りや溝さらい等の共同作業は、必ず出て欲しいとの要望が伝えられました。

羽鮒地区のように、地域内で担い手が不足している地域では、新たな担い手として参入法人や地域外の担い手とのマッチングを進めていきます。

富士農林事務所生産振興課 0545-65-2194

中部農林事務所安全だよりを創刊しました

中部

工事事故ゼロを目指して、「中部農林事務所安全だより」を創刊しました。

第1号は、工事現場でわかりやすい全員で共有できるハザードマップの紹介です。

だれでも視覚的にわかりやすい内容とするため、広聴広報課の「広報広報業務アドバイザー支援制度」を利用して、色使い等、専門家の意見を参考にしました。



中部農林事務所検査課 054-286-9054

中遠

農地活用連絡会（森町）を開催しました



NO IMAGE

令和3年1月12日（火）、森町役場で農地活用連絡会市町別検討会を開催しました。

森町、JA遠州中央本店・森営農センター、農業振興公社、中遠農林（農村整備、企画経営、生産振興）が出席し、人農地プラン、中間管理事業、荒廃農地再生の今年度の取組状況と来年度の取組計画について、意見交換を行いました。

中遠農林からは、人・農地プランの実質化について、基盤整備地区のみではなく、全域をカバーする形で進めて欲しい旨要請しました。

中遠農林では、1月末までに各市町ごとに検討会を開催し、関係機関が一体となった取組を推進していきます。

中遠農林事務所生産振興課 0538-37-2269
農村整備課

湖西市が人・農地プラン実質化に向けた
話し合い（知波田地区）を開催しました

西部

令和3年1月22日（金）、湖西市が人・農地プランの実質化に向けた話し合い（知波田地区）を開催しました。

参加者は、中心経営体、農業委員、農地最適化推進委員、JA、土地改良区、市役所職員で、西部農林はファシリテーターを務めました。

話し合いにより、地元担い手に水田を集積する方針や、外部の担い手との連携に関する将来方針案を作成することができました。

西部農林事務所では、引き続き人・農地プランの実質化に向けた支援、担い手への農地集積を推進していきます。



西部農林事務所生産振興課 053-458-7212
農村整備課